



探究科3年次の生物1班が、サイエンスファーム2025に参加しました。

探究科

8月2日(土)に開催されたサイエンスファーム2025に、探究科3年次の生物1班が参加しました。本コンテストは、北海道にある酪農学園大学が主催する生物に関する課題研究発表会です。これから研究してみたいことを披露する構想文献まとめ部門とこれまで取り組んだ研究の成果をまとめて発表する研究成果発表部門があり、構想文献まとめ部門に58作品、研究成果発表部門に29作品の出品がありました。



アリ同士のコミュニケーションについて発表する生物1班の生徒

研究成果発表部門で発表した生物1班の研究テーマは「アリが仲良くなるのはアリエるか?!」で、同じ種類のアリ同士や異なる種類のアリ同士を近づけたときの様子を観察し、研究を進めてきました。実験では、同じ種類のアリ同士は、互いの触角を近づける行動をとり、コミュニケーションを取っているように見え、異なる種類のアリ同士では、互いに逃げるように離れてしまうため、このような行動を見ることはありませんでした。また、コミュニケーションを取っているように見えた行動では、同じ種類のアリ同士が触覚の先端を1から2回接触させたのち、触覚の真ん中あたりを何度も接触させていたことや、からだの大きさが異なるアリの場合には、からだの小さいアリが大きいアリの触角の幅に合わせるように、触覚を大きく広げたことも報告することができました。

スタンフォードe-yamaguchiプログラムの閉講式が開催されました。

普通科

探究科

令和6年度スタンフォードe-yamaguchiプログラムの閉講式が、8月9日(土)にオンラインで行われました。本校から探究科の2年次生4人と3年次生5人が参加しました。本プログラムは、山口県とアメリカ合衆国のスタンフォード大学が連携して実施されたもので、世界の先端的な知見に触れ、課題解決の方法を考察する中で、英語力や積極性、リーダーシップ等を向上させ、将来の山口県を担うグローバル・リーダーの育成を目指すものです。プログラムはすべて英語で行われ、参加した受講生は、講義やディスカッションにより持続可能な開発目標を達成するための方法について考えてきました。



令和6年度スタンフォードe-yamaguchiプログラムに参加した生徒

昨年度末の3月には、参加した生徒それぞれが、プログラムを通して学んだことや考えたことをまとめて英語でプレゼンテーションしました。プレゼンテーションは、スタンフォード大学の先生方による審査が行われ、受講生30人の中から最優秀者表彰2人と準優秀者表彰4人が選ばれました。本校からは、探究科の2年次生1人が最優秀者表彰(1位相当)、探究科の2年次生1人と3年次生1人が準優秀者表彰(3位相当)を受賞することができました。最優秀者表彰を受けた探究科の2年次生は、8月21日(木)から25日(月)にかけて渡米し、カルフォルニア州にあるスタンフォード大学で開催される表彰式に参加します。キャンパスツアーや市内研修も開催されますので、多様性や文化の違いを直接感じ取ってくれることを期待します。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。

小学生を対象とした、「わくわく探究教室」を開催しました。

普通科

探究科

下関市や宇部市、山陽小野田市、美祢市の小学校5・6年生を対象としたわくわく探究教室を、7月26日(土)に開催しました。当日は、およそ80人の小学生が本校に来校し、表に示した7つの教室から2つの教室に参加しました。理科(物理)教室では、プラスチックコップを加工してプロペラをつくり、輪ゴムを使った動力で回転させて飛ばす、**プラコップター**をつくりました。また、理科(生物)教室では、ニワトリの卵や山地で生育する植物であるユキノシタの細胞を使って、浸透圧の違いにより細胞の内部が分離する**原形質分離**を顕微鏡で観察しました。さらに、**ダチョウの卵**を割って卵黄を取り出し、**最も大きい細胞の一つとして知られている卵黄**を観察しました。それぞれの教室では、本校生徒も講座の運営に参加し、小学生に寄り添いながらそれぞれの教室に携わることができました。

わくわく探究教室で実施した教室とテーマ

教室	テーマ
国語	作ろう!夏の俳句
社会	土器って、どうやって作られたの?
算数	紙で遊ぼう
理科(物理)	プラコップターで空を飛ばせ!!
理科(化学)	気体を発生させよう!
理科(生物)	生き物のフシギを知ろう
英語	英語でゲーム!



旭陵館で行われた開会行事

2つの教室を体験した小学生のみなさんは、再び旭陵館に集まり、科学部が**VEX Robotics**で作製したロボットを見学したのち、**コントローラー**を使って、実際に操作してみました。



それぞれの講座などに参加する小学生の様子

科学部の生徒が、第49回全国高等学校総合文化祭に参加!

普通科

探究科

7月26日(土)から28日(月)にかけて香川大学幸町キャンパスなどで開催された、第49回全国高等学校総合文化祭「かがわ総文祭2025」の自然科学部門に、科学部の3年次生1人が山口県代表として参加しました。

ポスター発表に参加した本校生徒の研究テーマは、「**縄の回転速度と風切り音の関係**」です。本研究では、縄を手で持って回転させたとき、縄の材質や質量、回転速度の違いによって、**風切り音**が**変化する原因**を調べました。ポスター発表には、全国から46作品の出品があり、26日(土)の一次審査では4分間、27日(日)の二次審査では1分間の発表に挑戦しました。審査の結果、入賞には届きませんでしたが、審査を担当された大学の先生方からアドバイスをいただくとともに、各都道府県の代表と研究を通して交流し、**研究を深めるきっかけ**を得ることができました。



審査を受ける科学部の生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。